

中野区  
議会議員

# 中村延子

## 区議会レポート

発行 / 中野区議会民主議員団

中野区中野 4-8-1 Phone: 03-3228-8876 Fax: 03-3389-8718

編集 / 中村延子事務所

中野区弥生町 4-36-6-402 Phone:080-6533-9450 Fax: 03-3380-3150  
email: n@nakamuranobuko.jp

Vol.6

平成26年1月号



### 平成26年度予算要望をしました

中野区議会民主議員団からの予算要望は以下になります。

平成26年度中野区予算要望

景気は回復基調にあるといわれていますが、現場では未だ実感する事が中々出来ない状況であります。先行きは不透明な中、来年4月の消費税増税による住民への影響は、大変に大きなモノであることは容易に予想されます。

少子高齢社会の今、自治体間にも競争の時代がやって来ます。引き続き、区民との信頼関係を深め、区民が中野を愛し、住んで良かったと誇れるような自治体づくりを進めなければなりません。中野区が選ばれる自治体となることにより、勤労納税世代の定住が進み、安定的な歳入確保にも繋がります。

数多くの区有施設が老朽化し、更新の時期を間もなく迎えるようとして



いる中、行政サービス全体のあり方を総点検し、持続可能な区政運営を行える基盤を構築するよう求めます。

こうした観点から、中野区議会民主議員団は、下記の事項について平成26年度予算に反映されるよう要望します。

#### 1. 公正・公平な中野を目指して

●住民税・国民健康保険料をはじめ、区が徴収すべきすべての区債権の収入率向上の取組を行うこと

●差押を基本とした滞納対策 滞納処理状況の一層の公開

●事業評価手法の改善により、ムダづかいをなくすこと

●公共サービスのフルコスト計算による事務事業診断

●委託事業全般のコストと効果の検証と公開

●本当の弱者を救う仕組みづくりをする

●働ける世代への就労支援

●生活保護の不正受給根絶と医療扶助のチェックの徹底

●良質な公共サービスの提供

●「公共サービス基本法」を踏まえ、契約する民間企業・団体の労働条件の調査

●上記の調査から、適正な労働条件確保のため、「公契約条例」の制定

●透明性のある持続可能な区政運営を行うこと

●予算編成過程の透明化

●区役所移転計画・公共施設マネジメント計画の早期策定

●歳入確保への取り組み

●特定財源確保の努力

具体的には社会資本整備総合交付金・totoサッカーくじ助成金の積極活用等

#### 2. 子どもを産み育てたい中野を目指して

●保育環境の整備について

●認可・認証保育園誘致等、家庭福祉員の増員による待機児の解消

●延長・休日保育等による多種多様な保育ニーズへの対応

●保育士確保への支援

●幼児教育の充実を図ること

●私立幼稚園入園料保護者補助金の増額

●私立幼稚園防炎用品緊急整備費の補助

●魅力ある公立小・中学校を創出すること

●オリンピック選手が育成できるような環境整備・スポーツ振興

●子どもたちの個性を伸ばす教育の充実

●中学校部活外部指導員、謝礼金の大幅増額

●中学2年生の宿泊行事の復活

●特別教室の冷房化

●いじめ・体罰への対応強化

●地域力を活かした子育て支援を充実させること

●乳幼児親子の地域での居場所の確保

●学校給食食材の放射能測定をおこなうこと

#### 3. 安全・安心の中野を目指して

●自然災害に負けないまちづくり

●と、いざという時の対策を確立すること

●密集状態の解消、生活道路の整備、オープンスペースの確保

●帰宅困難者支援対策

●災害協定締結団体との訓練の実施

●災害時外国人への情報提供体制の整備

●学校現場での防災教育の充実

災害時要援護者名簿と地域支えあい見守り対象者名簿の整理

●警察・消防・地域との連携による防犯、防災対策の充実を図ること

●地域防犯・防災組織への支援

●青色パトロールカーの民間委託化

#### 4. 住んでよかったと思える中野を目指して

●働きざかり世代が満足できる取組を進めること

●スポーツ施設の充実、妙正寺公園運動広場の整備促進

●図書館の蔵書の充実、学校図書館の地域開放

●地域や住民自身の活動を支援すること

●改正ZNO法に対応した、新寄付税制への条例改正

●区民活動センターの職員体制の見直し 1:8名→2名へ

●CO2削減で深呼吸のできるまちづくりを進めること

●省エネ機器の区施設への導入家庭での省エネ機器購入補助

●廃棄物収集指導班の人員確保

●国際交流の推進

●幅広い海外自治体との交流と民間交流の支援

●がん対策

●子宮頸がん検診の細胞診とHPV検査の併用検診の実施

●子宮頸がん検診無料対象者への検診の継続

●がん検診の受診対象者全員の受診券の送付

●メンタルヘルス対策

●メンタルヘルスの正しい知識の普及と相談機関の周知

●住民理解のもとでの東中野小学校跡地の早期整備

## ● 会派視察に行ってきました

10月29日および30日、金沢市と福井市へ会派視察に行ってきました。

金沢市では金沢市教育プラザ内子ども総合相談センターにて、金沢市児童相談所の移管についてお話を伺い、その後センター内を見学させていただきました。23区でも都から移管する議論がある中、所長さんがバイタリティー溢れる方で、とても有意義な視察になりました。

福井市では、「福井市行財政改革指針について」と「地縁団体の法人化について」お話をうかがいました。



## ● 伊豆大島へ行ってきました

11月17日から18日にかけて、台風26号の甚大な被害にあった大島へ視察およびボランティア活動へ行ってきました。17日の22時に竹芝を出発し、船中泊で翌朝6時に現地に着。すぐに町議の方やボランティアで現地に入っているJCの方からお話を聞きながら被害にあった地域を視察致しました。8時30分にはボランティアセンターに移動し午前中は家屋の泥かき作業のボランティア。お昼を食べたあとは、大島町長と面会、その後かろうじて土砂災害を免れた東京電力の発電所にも伺いました。



## ● 「教育長の同意案件について」

11月22日からスタートした中野区議会平成25年第4回定例会は12月5日に閉会をいたしました。最終日には、議会の同意案件として教育長の再任が議題に供されました。

自治体の教育行政のトップである教育長は区長が任命し議会が同意して決定されます。最終日の本会議で現教育長が議会の賛成多数の同意を得て再任されました。反対は私たち民主党(4名)、共産党(6名)、と無所属5名の計15名。

基本的に人事はよほどの事がない限り、同意をしています。ただ、現教育長は「不正打刻事件」の当事者。病気で長期無断欠勤していた幹部職員のタイムカードをあたかも出勤していたように見せかけるために1か月半本人に代わり打刻し続け、給与を区に支払わせていたという事件です。裁判にもなり、区は敗訴しています。

子どもたちに社会の秩序や規範を教えなければならない教育行政のトップにこの方を区長が任命することに疑問を抱きますし、真面目に働いている職員の方々の士気も下がります。前回の議決からよほどの功績を残されていれば別ですが、議会が給食食材の放射能測定を求める陳情を全会一致で可決したにも関わらず、いまだ行われていない事などを踏まえ、同意は出来ないと判断いたしました。

# 中村延子

なかむらのぶこ

略歴

1981年9月2日生まれ 東京都中野区出身／東京文化小学校、東京文化中学校卒業／米国アニーライトスクール高等部卒業／米国クレアモント・ピッツァーカレッジ卒業／在学中、北京大学医学部へ短期留学／約4年間、民間企業に勤務／民主党衆議院議員手塚よしお秘書、参議院議員蓮舫秘書として経験を積み、2011年4月中野区議会議員選挙で1530票をいただき初当選／**役職**：厚生委員会・地域支えあい推進特別委員会副委員長

[www.nakamuranobuko.jp](http://www.nakamuranobuko.jp)

趣味

●音楽、料理、旅行、フラワーアレンジメント ●おとめ座／B型／酉年